

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 井上
日 時	令和3年12月20日(月曜日)	開 議 閉 議	午前10時20分 午前11時10分
出席委員	◎木村 ○浅田 三上 山本 松山 齊藤 石野		
執行機関 出席者			
事務局	井上事務局次長		
傍聴	可	市民 0名 報道関係者 0名	議員 0名 ( )

## 会 議 の 概 要

10 : 20

### 1 開議

### 2 委員長報告の確認

<木村委員長>

— 委員長報告の朗読 —

<松山委員>

第20号議案のところで、「現在施工中の工事について、天井材脱落リスクを低減する脱落防止ネットを緊急対策として施工する」と書いてあるが、なぜ緊急対策するかをもう少し詳しく書いたほうがよいと思う。天井材が脱落して非常に危ない現状の中で、天井全面改修には高額な費用がかかるので、緊急的措置として実施するということが分かるように書いておかないと、施工中の工事で天井材が脱落するというように受け取れる。

<木村委員長>

「漏水修理箇所以外に脱落した箇所があるため」と入れてよいか。

<齊藤委員>

脱落が起きたために現在施工中の工事に追加するので、「現在施工中の工事について」という文言を後に持ってくればどうか。

<三上委員>

松山委員が言われたことは2つあった。全面改修ではないということも言われたように思う。

<松山委員>

今回契約変更する理由としては、天井材が脱落したので危ないため、時限的措置として実施するということが一つ。もう一つは、指摘要望のところに「今後、全面改修工事の早期実施」と書いている。令和13年度に天井全面改修工事を実施するということであるが、財政面の根拠も示されていない中で、ここで細かいことは言えない。指摘要望に書かれているのでよいと思っている。

<木村委員長>

なぜ天井脱落リスクを低減する脱落防止ネットを緊急対策として施工するのかということ、前提に入れておいたほうがよいということである。当初は雨漏り箇所の修理

であったが、それ以外のところで脱落したことにより、天井材脱落リスクを低減するため脱落防止ネットを緊急対策する。現在施工中の工事について増額する契約変更をしようとするを入れる。それと、指摘要望のところ、「今後、全面改修工事」を「今後、天井の全面改修工事」としたほうがよいと思う。

<三上委員>

「第20号議案、令和3年度ガレリアかめおか長寿命化改修工事（建築）請負契約の変更については、雨漏り箇所以外の天井材脱落が見つかったため、直ちに全面改修ができない中、緊急対策として脱落防止ネットを、現在施工中の工事に加えて施工するため、契約金額を増額する契約変更をしようとする」としてはどうか。

<木村委員長>

今の文案でよいか。

— 全員了 —

<松山委員>

指摘要望のところであるが、先ほど委員長が「天井の全面改修工事」としたほうがよいと言われたが、今回の天井材脱落の原因が分からない中で、今後の全面改修工事という大きな形にしておいたほうがよいと思う。ガレリアかめおかは、ガラス修理も決まった業者しか施工できないと聞くが、公共施設ではあってはならないことである。そういうことも含めて、今後の全面改修工事の早期実施と計画が必要になってくる。令和13年に天井全面改修工事を予定しているということだが、財源の根拠もない中で何を出しているのか分からない。計画を前倒しし、ガレリアかめおかの在り方を検討して工事を実施すべきである。それに向けて、財源確保も含めて努力すべきである。そういうことを、分かりやすく市民に説明できるように、指摘要望の中に入れてはどうか。

<木村委員長>

天井だけでなく、全面改修工事としておくということか。

<松山委員>

そうである。「全面改修工事の早期実施に向けて、計画、財源確保等努力するよう強く指摘要望する」としてはどうか。また、11月19日の総務文教常任委員会で初めて天井材脱落の報告があったが、事案が発生したのは8月である。11月19日まで正副委員長にも報告がなかった。理事者と議会間の情報の透明化、市民にも透明性を持ってやっていくべきであるので、透明化という言葉指摘要望に入れたいと思う。もしも脱落した天井材が市民に当たっていたら、誰が責任を取るのか。行政として、まずい案件ほど直ちに報告すべきだと思うので、指摘要望すべきである。全面改修工事の早期実施に向けて、計画、財源確保等努力することに加えて、事案発生後、報告まで時間が空いたので、行政の公開の在り方が問われているということも指摘したい。

<木村委員長>

「緊急事案や市民の安全に関わる内容については、事故が発生したときに議会に報告するよう要望する」というように、この件だけでなく全てのことに對してお願いしたほうがよいと思う。

<三上委員>

指摘要望の文言に「今後、全面改修の早期実施」とあるが、天井だけではなく全てにかかっているように取れる。最初の2行は、「検討し」を「検討するとともに」とし、「点検を実施すること」で止めておいて、安全にやるように、よいものを選ぶように、総点検するということの一つである。今後、全面改修工事というと、いわゆる全て改修するということである。今実施しているのは、今のものを何とかして少しで

も寿命を延ばそうという長寿命化工事である。その後、いよいよ駄目になったときに、全面改修がよいのか、あのような天井の高いガラス張りの建物は潰してしまって、環境によい、効率的、機能的な建物に造りかえるほうがよいのか、市民にとって何がよいかを考えていかなければならない。全面改修工事を全てにかけてしまうと、それが本当に得なのかどうか分からないので、書き方は慎重にしたほうがよい。今後のギャラリーかめおかの施設の在り方については、計画的に検討すべきという文言のほうがよいのではないか。「今後、ギャラリーかめおかの施設の在り方について計画的に検討するとともに、今回のような破損等については速やかに議会にも報告されること」と付け加えてはどうか。

<松山委員>

全面改修をするかどうかというのも、今後のギャラリーかめおかの在り方から出てくる話である。長寿命化というと、今の状態を先延ばししていくようなイメージになってしまう。そうではなく、公共施設管理マネジメントの中で、ギャラリーかめおかの在り方の計画を、財源確保のことも入れてしっかりと作り、早期に情報開示も含めてすべきである。全面改修を全てにかけるのではなく、今後の在り方というところで止めておいたほうがよいと思う。

<木村委員長>

「天井の全面改修工事の早期実現に向けて努力するとともに、ギャラリーかめおかの在り方を考えるための計画を財源も含めて考えるように」ということで、「天井の全面改修」と入れたほうがよいか。

<松山委員>

「ギャラリーかめおかの在り方等の計画を前倒しするように」としたほうがよいのではないか。理事者も、計画の前倒しも検討して進めていくと言っていた。ネットを貼るのではなく全面改修したほうがよいのではないかという意見が出たが、全面改修と入れずに今後のギャラリーかめおかの在り方で止めておけばよいと思う。

<齊藤委員>

あまり細かくしないほうがよいと思う。ギャラリーかめおかは、夏は暑く冬は寒い施設であり、建物自体に問題がある。今後の在り方ということで加えておけばよいと思う。

<木村委員長>

ネットの選定を検討し、今回の緊急対策の実施にあわせてできる限りの点検を実施すること、天井全面改修は早く実施すべきだということは言うておかなければならないので、努力するよう指摘し、「今後、ギャラリーかめおかの在り方についても検討していくよう指摘する」ということでよいか。

<松山委員>

「今後、全面改修工事も視野に入れ、ギャラリーかめおかの在り方そのものも考え、計画実施に向けて努力するよう指摘要望する」としてはどうか。

<木村委員長>

「安全・安心を第一に施工方法とネットの選定を検討し、今回の緊急対策の実施にあわせてできる限りの点検を実施し、天井の全面改修の早期実施に向けて努力するよう指摘する」ということは入れておかなければならない。天井は早く改修するようということを入れる。その後に、「ギャラリーかめおかの在り方についても、今後早期に計画するよう指摘要望していく」ということでよいか。

<三上委員>

「市民の安全・安心を第一に施工方法とネットの選定を検討するとともに、今回の緊急対策にあわせてできる限りの点検を実施すること。今後、破損等の事象があれば速

やかに議会に報告すること。今回の施工はあくまで緊急措置であり、天井の全面改修を含めた施設の在り方については計画的に検討するよう指摘要望する」としてはどうか。

<木村委員長>

今の文案でよいか。

— 全員了 —

### 3 その他

#### (1) 議会だよりの原稿について

<松山委員>

「離れ」にのうみのところで、ワーケーションは分かりにくい言葉だと思うので言い換えるか、説明を入れられればよいと思う。

<石野委員>

ガレリアかめおかのところで、天井材脱落事故と書いているが、天井の一部であるがどうか。

<木村委員長>

事故といってもけがはなかった。

<齊藤委員>

「離れ」にのうみのところであるが、「本市の魅力を発信するワーケーション施設としてモニターを広く募集する」というように、簡単でよいのではないか。

<三上委員>

石野委員が言われたように、事故が発生したと書くと、大変なことが起こったように感じるので、「天井材の脱落が見つかったため」としてはどうか。ワーケーションのほうは、説明すると長くなってしまうので、「仕事と休暇を両立させるワーケーションに適した市の魅力を発信するため」とすればどうか。正式名称でなければ駄目ということではないので、財源のコロナ対応地方創生臨時交付金と縮めてもよいのではないか。

「最適地」は、「離れ」にのうみがそうだとということではなく、亀岡がよいところだということなので、「ワーケーションに適した市の魅力を発信するため」とすればよいのではないか。

<山本委員>

開かれたアトリエのところで、「令和4年4月から午後10時まで使用可能とする。午後6時以降は有料」ということで意味は分かるが、「ただし、午後6時以降は有料」と一言入れておくと、使えるようになったけれど、午後6時から是有料だということがはっきりする。明確になるように一言付け加えてはどうか。

<木村委員長>

はっきり分かるように「ただし」を入れてよいか。

— 全員了 —

<松山委員>

「離れ」にのうみのところであるが、移住・定住促進経費と言っているのに、仕事と観光の話が入ってくる。市の方向性として、そうしたいから指定管理者にお願いしてやっているというわけではないので、移住につながるということも入れるべきだと思う。「財源のコロナ交付金は市民に寄り添った使途となるよう」という文言では、そもそも移住・定住につながっていないお金を出しているのではないかと誤解を招きかねない。移住という言葉はどこかに入れるべきではないかと思う。

<三上委員>

議会としては附帯決議を上げて、「離れ」にのうみで移住・定住はできないので、産業観光部に移管して、観光施設として使うようにと言っているの、そこまでこだわるのはどうかと思う。むしろ、そのようなことにコロナ交付金を使っているのかと言うほうが、市民にとってはよいのではないかと思う。両面あるので難しいところである。

<松山委員>

分かった。

<木村委員長>

先ほど三上委員が言われた文言でまとめてよいか。

— 全員了 —

## **(2) 次回の日程について**

<木村委員長>

次回、1月の委員会では、11月19日の委員会で意見が出た避難所の運用、避難訓練の内容について、自治防災課から説明を聞き意見交換したいと思う。質問したい項目があれば、事務局まで連絡をお願いします。

— 下記のとおり決定 —

- ・ 1月20日(木) 午後1時30分～  
「自治防災課との意見交換」

散会 ～11:10